

意外と知らない歯科知識

「歯みがきで 丈夫な体の 基礎づくり」 子どもの口腔機能を育てましょう

6月4日(水)〜6月10日(火)歯と口の健康週間です。この啓蒙活動は歯科疾患の予防処置の徹底を図り、早期発見、早期治療を行う事により歯の寿命を延ばし、健康保持増進に寄与する事を目的として、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会が1958年から実施しています。

口腔機能発達不全症にさせない為に

平成30年より保険診療に加わった「口腔機能発達不全症」は、嘔む・飲み込む・話すといった口の機能が上手くできない、口呼吸がある状態を指します。小児期は成長発達の大切な時期です。歯の萌出前からの口腔管理や離乳食指導が重要です。実際に、厚生省の調査では0〜2歳の保護者の74.1%が離乳食に悩みを抱えています。正しい噛み方や飲み込み方ができるよう、口腔筋機能療法(MFT)、食育に取り組むことで口腔機能の正常な発達を目指します。近年、食生活の変化により嘔みや姿勢(猫背)が悪くなっています。また、永久歯をきれいな歯並びに育成するには、乳歯の生え方や顎の成長を定期的にチェックし、必要に応じて早期治療を行い、お子さま

の健やかな成長をサポートしましょう。

0歳児からの咬合育成(おうち矯正)でキレイな歯並びを

将来正しい咬み合わせに誘導するには、口の健診が大切です。口腔閉鎖不全(ポカン口)は、無意識に口が開いている状態で、食べ方や舌の突出癖、指しゃぶり、口呼吸などが原因です。ポカン口は口腔閉鎖力を測定し、MFT(筋機能訓練)とおうち矯正で早期に予防をしましょう。

食育・脳育は学びの力を育む

しっかり噛んで食べることは、体の健やかな成長だけでなく、脳の発達にも深く関わっています。特に脳の前頭野と呼ばれる部分は、小学高学年から成人に至るまでに発達し、噛む刺激によって活性化されることが分

かつており、これが集中力や判断力、記憶力といった「学びの力」を育む土台になります。実際に、よく噛んで食べる子どもは、学習面でも良い成果が出ています。食育は単なる栄養摂取にとどまらず、脳を育てる「脳育」にもつながる大切な習慣なのです。柔らかいものばかり食わず、適度に噛みごたえがあり、噛む回数が増えるような食材を使い調理を工夫し、子どもたちの心と脳の健やかな成長を、日々の食卓から応援していきます。

ほっこりワールド

徳治昭童画展開催

(入場無料)

6月7日(土)〜6月15日(日)、童画家イラストレーターで、宝くじイラストや絵本、キャラクターデザインなどで活躍中の徳治昭さんによる、お馴染みのほっこりワールド!童画展を開催します。「シティライフを見た」と来場の方にプレゼントを進呈します。

この先生に聞きました!



朝倉 歯科医院
歯科医師
食育アドバイザー
出口 裕子



朝倉 歯科医院
副院長 歯科医師
大阪大学臨床研修指導医
佐藤 典子



朝倉 歯科医院
院長 歯学部博士
大阪大学臨床研修指導医
朝倉 勉

徳治昭童画展(入場無料・プレゼントあり)

6月7日(土)〜6月15日(日) 11時〜18時
茨木市駅前4-3-26 あさくらメディカルビル1F
※最終日は16時まで

ギャラリーあさくら

☎072-626-2006

徳治昭連絡先

☎090-8386-2447

ギャラリーあさくら情報



徳治昭童画館情報



セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きします
インプラント・入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・審美歯科・ホワイトニングはお気軽にご相談ください。

(医) 朝倉歯科医院/小児歯科Happy club

ホワイトニングサロンBLANCA

かかりつけ歯科医機能強化型診療所

大阪大学歯学部臨床研修施設

☎072-625-2001 (代表)

茨木市南春日丘1-1-19 朝倉デンタルビル

JR茨木駅から近鉄バスで5分 春光園(朝倉歯科医院前)

